

課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課 長 村山 一成

重点事業の概要 [事業名：アウトリーチ事業]

○演奏家等を学校や地域に派遣し、市民が身近に生の音楽演奏に触れる機会を創出します。

○この事業は、「リープロ6 多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取り組み「市民文化活動の振興を図ります」を達成するために、市民が気軽に文化や芸術を見て、聞いて、触れて、参加し、楽しむことのできる環境づくりを実現するための事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖市文化事業協会事業として、5月8日から9月17日までの間に、市内の保育園、幼稚園、小中学校など17か所で訪問演奏を実施した。
	自己評価	円滑に事業を実施するために関係者との十分な計画、調整ができた。
	下半期への対応	10月6日から3月5日までの間に、20か所で訪問演奏を行うとともに、来年度の開催方法について検討を行う。
下半期	取組実績	市内の保育園、幼稚園、小中学校、まちづくり推進センター、大型商業施設など計37か所への訪問演奏を実施した。来年度実施に向けた各施設の意向調査を実施した。
	自己評価	まちづくり推進センターや商業施設など、アウトリーチ事業の派遣先を増やすことができた。
	目標値の達成状況	予定していた37か所で実施できた。
	次年度への対応	派遣するアーティストの分野や派遣先を更に広げて、身近な場所で様々な質の高い文化に触れていただく内容とする。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

アウトリーチは市民が身近な施設で気軽に楽しめる文化芸術の提供です。今後とも、実りある訪問演奏の実施に心がけること。

下半期

実績を踏まえ、地域の方々にとってより身近な催しとなるように、次年度の事業計画を進めること。

文化芸術振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課 長 村山 一成

重点事業の概要 「事業名：鳥栖市民文化祭事業」〔目標値：参加者数 7,500 人〕

- 市民の文化芸術活動の成果発表、鑑賞や体験等の機会を提供します。
- この事業は、「リープロ6 多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取り組み「市民文化活動の振興を図ります」を達成するために、市民の創作活動の意欲向上、文化芸術に対する理解と関心を深めるための事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	文化祭出演者をはじめ、出品作品、出店の募集を行うとともに、実行委員会、部門別会議及び関係団体との打ち合わせを重ね、今年度の実施内容の詳細を決定した。
	自己評価	関係者が協議を重ねることで、昨年度の反省点をふまえた新たな工夫なども追加できた。
	下半期への対応	10月31日、11月1日、11月11日の実施に向けて、更に充実を図る。
下半期	取組実績	今年度は市民文化祭を「とすフェス」として10月31日、11月1日、11月11日に開催した。10月31日は防災フェスタと同時開催とした。参加者及び来場者は延べ22,200人だった。
	自己評価	新たな催しなどの工夫もあり、全体的な来場者は増加したが、舞台部門や展示部門への集客がやや減少している。
	目標値の達成状況	集客数は昨年を上回り、目標値を達成できたが、舞台部門や展示部門への集客が伸ばせなかった。
	次年度への対応	更に魅力ある内容と集客に向けた取り組みを検討する。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

市民に親しまれ、創作活動の意欲向上に繋がるような文化祭となるよう検討を重ねること。

下半期

「とすフェス」と銘打って市民文化祭を開催し、新たな催しも加え、集客を図ったことは評価できます。舞台部門については、集客増を考慮したプログラムについて関係団体との協議を進めること。

課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課 長 村山 一成

重点事業の概要 〔事業名：鳥栖市文化事業協会委託事業〕

〔目標値：参加者数 17,500 人〕

- 鳥栖市文化事業協会に委託し、身近な場所での鑑賞機会の創出と幅広い世代を対象とした魅力ある文化芸術の鑑賞機会を提供します。
- この事業は、「リープロ6 多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取り組み「文化芸術・スポーツを担う人材・団体を育成・支援します」を達成するために、魅力ある文化芸術の鑑賞機会の提供と文化芸術事業の企画・運営に係る人材の育成を実現するための事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	氷川きよしコンサートやジャズコンサート、日本の喜劇映画上映など様々なジャンルの9事業を行い、約9,000人の参加があった。
	自己評価	極力市民ニーズの高いものを選択し、鑑賞型、参加型、普及型などいろいろな形で多くの市民の方々に文化・芸術に触れていただくように努めた。
	下半期への対応	今後も魅力ある事業企画、実施のための人材の育成・確保に努める。
下半期	取組実績	音楽コンサート、落語会、ミュージカル、アウトリーチ事業、カルチャーセミナーなどの公演会（23事業）を行い、約24,000人の参加があった。
	自己評価	各事業とも概ね定員に近い参加者があり、分野も拡充し、内容も充実してきている。
	目標値の達成状況	事業数は前年度を上回り、参加者数は目標値を達成できた。
	次年度への対応	引き続き優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民活動の推進を図るため、各種事業に取り組み芸術に親しむ市民の裾野を広げる。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

事業の実施に当たり、採算性も視野に、市民ニーズに沿った魅力ある取組をすること。

下半期

本年度は目標以上の参加者数があった。身近な場所で優れた文化芸術に親しむよい機会であり、今後も採算性を考慮しつつ、魅力ある事業メニューの検討を進めること

課長の仕事宣言！ 進行管理表

文化芸術振興課 課 長 村山 一成

重点事業の概要 〔事業名：フッペル鳥栖ピアノコンクール事業〕

- 平和への願いとともに戦争悲話をもつフッペルピアノにちなんだピアノコンクールを開催します。
- この事業は、「リープロ6、多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」に位置付けられた取り組み「文化芸術・スポーツを担う人材・団体を育成・支援します」を達成するために、将来の文化芸術の担い手を育成するための事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	コンクール・ジュニア部門Aコースの予選を9月5日、市民文化会館で実施し37人の参加があった。また、ジュニア部門の本選や他のコンクール部門への準備やコンクールに伴う催事の計画を行った。
	自己評価	コンクールの実施や準備を円滑に進めることができた。
	下半期への対応	コンクール・フッペル部門やジュニア部門A・Bコースの円滑な運営のほか、昨年度受賞者を迎えてのクラシックコンサートや本年度受賞者による記念コンサートの集客に努める。
下半期	取組実績	コンクール・フッペル部門に32名の参加者があり、予選・本選を実施した。11月15日、前年度優勝者をソリストに迎え、オーケストラとの共演による演奏会（入場無料）を実施し、約1,000人の入場者があった。3月21日に、受賞記念コンサートを実施した。
	自己評価	コンクールのレベルは全国的にもかなり高いものとなっているが、コンクール鑑賞の来場者が少ないことが課題である。
	目標値の達成状況	広報が不十分だったため、前年度優勝者とオーケストラによる演奏会の入場者が少なかった。コンクールの参加者は、昨年よりやや多かった。
	次年度への対応	より一層の市民の関心を高め、市外、県外からの来場者を誘導できるよう周知方法を工夫するとともに、安定した事業運営のため財源確保に努める。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

コンクールの実施やコンクールの受賞者を迎えての無料コンサートの実施などについて宣伝広報に努め集客を図ること。

下半期

来年度事業について、コンクールの参加者増やコンサート入場者増につながる宣伝広報について検討すること。